

国語科 「理解の学習の目標と指導事項」の各学年の重点と系統表 (1~3学年略)

学年 項目	第4学年	第5学年	第6学年
○能力を養う ○重点目標 ○態度	○ 段落ごとの内容の要点相互の関係や内容の中心点を把握しながら叙述に即して正確に文章を読んだり、話の要点や中心点を正確に理解しながら聞いたりすることができるようとする。	○ 主題や要旨を理解しながら、文章を読んだり、話を聞いたりすることができるようとする。	○ 読む目的や文章の種類、形態などに応じた適切な読み方で文章を読んだり、目的に応じて効果的に話を聞いたりすることができるようとする。
○目標	○ 読書の範囲を広げるようとする。	○ 読書を通して知識を増し心情を豊かにする。	○ 適切な読み物を選んで読む習慣をつける。
○声を出して文章を読むこと ○内容を理解すること(読む指導の核) ○書かれていることに対して自分の考えを持つこと ○自分の立場から内容をまとめること	ア 事柄の意味、場面の様子人物の気持ちの変化などが聞き手によく伝わるように音読すること。 イ 文章や話の中心的な事柄に対して、自分の感想をまとめてみること。 ウ 読み取った事柄や聞いた話の内容についての感想を比べ合い、一人一人の理解の仕方の違いについて考えること。	ア 主題や要旨を確実に理解しながら、自分の感想や意見をまとめる。 イ 書き手のものの見方、考え方、感じ方などについて考えながら読むこと。	ア 文章や内容と自分の生活や意見と比べながら、読むこと。 イ 書き手のものの見方、考え方、感じ方などについて自分の考えをはっきりさせて読むこと。 ウ 本を読んだり、話を聞いたりした結果、自分の感じ方や考え方がどのように変わったか考えること。
○目的に応じた聞き方、読み方をすること ○適切な材料を選んで効果的に読むこと	エ 読む目的に照らして大事な事柄をまとめたり、必要なところを細かい点に注意して読んだりすること。	ウ 必要な事柄を調べるためまた、必要な情報を得るために文章を読むこと。	エ 目的に応じて適切な本を選んだり、効果的な読み方を工夫したりすること。
○想像力を働かせて読むこと ○優れた表現を味わうこと ○優れた表現の個所を視写すること	オ 表現に即して、場面やその情景を思い描くこと。 ク 表現の優れている文章を視写したり、自分の書く文章にも優れた表現の仕方を取り入れたりすること。	カ 人物の気持ちや場所の情景が描かれている個所について味わって読むこと。 ク 表現の優れている文章を視写することによって、理解及び鑑賞を深めるとともに、優れた点を自分の表現にも生かすこと。	キ 描写や叙述の優れた個所を読み味わうこと。